

BCAO 関西支部 平成 28 年 7 月度（第 115 回）支部会議事録

日時： 7 月 20 日(水) 18:30～19:00

場所： 大阪産業創造会館 No.6 会議室

司会： 野原、書記：藤村

出席者 藤村、野原、伊藤（高）、徳永、小友、飯田、笹平、鷲山、萩原、田中、伊藤（聖）、大館、小山、林（行）、速水、別役、荒家、浦川、

オブザーバ：BCP JAPAN 山口（泰） 19 名（順不同、敬称略）

議題：

1. 本部運営委員会(6/20)報告

・今年度の事業計画について

企業・組織の継続的な成長・適応を支える下記の 3 つの要素を推奨し、事業継続を実現できる企業・組織の力となる事業継続能力を推進していく内容を会員内外に発信。

(1) 防災による安全の推進

(2) 早期に復元できる力の強化

(3) 成長を支える力の強化

・役員（理事・監事）及び幹事の役割の整理について

役員・幹事それぞれの役割については事務局にて整理。次回本部運営委員会で確定。アワード担当とニュースレター担当を統合する。

・幹事の追加について

関西支部より、野原英則 氏（京セラ）、笹平康太郎 氏（インターリスク総研）の二名について幹事追加の提案あり、全員異議なく了承。

・フェイスブック活用について

会員拡大につながるよう、フェイスブック開設している。活用願いたい。

・リモート会員のサービスについて

ITBO研究会から、関西事務所以外の会議通話の開放（東京に集まらない地方の会員の利便性を高めるもの）について要望があった。事務局より、それぞれの企業からリモートでの参加をするようになった場合、会員以外の方の参加が考えられることから、東京、大阪と制限をかけていた経緯説明。そのことを理解して座長権限でリモート参加者に確認の上、トライアルとして実施して頂き、スカイプ以外の方法を含めやり方について提案改善していく。

・法人向けサービスについて

伊藤副理事長より、昨年度からの継続案件であった法人向けサービスメニューについて説明があった。現在までの総意点としては、会員拡大という点からみると個人会員の拡大も大事だが、事業継続を考えたとき、法人の会員をいかに増やすかが重要。昨今、法人会員に関して頭打ち。法人会員獲得のためには、法人会員向けの新規サービスを出していくのが必要。サービス内容について検討開始。

・「熊本地震に関するタスクフォース」の設置について

1 年限りの事業としての「熊本地震に関するタスクフォース」の設置はない。本件については、自然災害研究会の今年度のテーマの一つとして「熊本地震」を取り上げ、期間限定の研究テーマとして会員全体に案内をし、会員ニーズ次第で拡大していく。視察については、予算は計上していない。希望者が集まって視察に行くというのも一つの方法。

2. その他

- ・ 関西支部勉強会予定について

本部主催の10/19（水）普及セミナー（熊本地震における事業継続の状況とこれからの事業継続（BC）の取組み（案））開催により10月度勉強会はなしとする。支部会合は、普及セミナーの会場等の条件次第であるが開催予定とする。（別紙配布）

- ・ 関西支部運営ルール等について

円滑な支部運営を目的に、ルール（支部運営全般、事務所利用、事務所インターネット利用）を文書化した。基本的には、運営委員会での活用となる。不明な点あれば運営委員会に相談頂きたい。

3. 次回案内

- ・ 日時：8月24（水）18：30～20：30
- ・ 場所：株式会社竹中工務店大阪本店
- ・ 勉強会：海外のBCPについて（講師：笹平氏）

以上